

平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成23年11月10日

上場会社名 カワセコンピュータサプライ株式会社 上場取引所 大
 コード番号 7851 URL http://www.kc-s.co.jp
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名) 羽山 政彦
 問合せ先責任者 (役職名)常務取締役営業本部長 (氏名) 川瀬 康平 (TEL)06(6222)7474
 兼最高財務責任者
 四半期報告書提出予定日 平成23年11月11日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第2四半期の業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	1,737	4.0	△8	—	13	—	△1	—
23年3月期第2四半期	1,670	△3.8	△36	—	△54	—	△75	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第2四半期	△0 29	— —
23年3月期第2四半期	△15 70	— —

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第2四半期	4,533	3,481	76.8
23年3月期	4,619	3,530	76.4

(参考) 自己資本 24年3月期第2四半期 3,481百万円 23年3月期 3,530百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	— —	0 00	— —	10 00	10 00
24年3月期	— —	0 00			
24年3月期(予想)			— —	10 00	10 00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,600	12.5	11	—	29	—	10	—	2 18

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

4. その他

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

24年3月期2Q	5,160,000株	23年3月期	5,160,000株
----------	------------	--------	------------

② 期末自己株式数

24年3月期2Q	321,760株	23年3月期	321,281株
----------	----------	--------	----------

③ 期中平均株式数（四半期累計）

24年3月期2Q	4,838,654株	23年3月期2Q	4,839,117株
----------	------------	----------	------------

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

- ・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する定性的情報	2
(2) 財政状態に関する定性的情報	2
(3) 業績予想に関する定性的情報	3
2. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 継続企業の前提に関する注記	9
(5) セグメント情報等	9
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10
(7) 重要な後発事象	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する定性的情報

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災からの立ち直りが予想以上のペースで進み、生産や輸出は概ね震災前の水準に回復するなど、持ち直しの動きは続いておりますが、世界経済の見通しの不確実性の高まりやそれを受けた為替円高の進行により、総じて厳しい経済環境が続きました。

ビジネスフォーム業界におきましても、オフィスのデジタル化やコスト削減による総需要量の減少が続き、その中で価格競争が激化するなど厳しい環境が続きました。

このような状況下、営業におきましては、厳しい環境下においても成長を続ける通販業界の開拓や既存取引先の需要掘り起こし及び中央官庁をはじめ市区町村、外郭団体へのアプローチを中心に活動いたしました。

業績につきましては、以上の厳しい環境の影響で、当第2四半期累計期間の業績は、売上高が1,737百万円（前年同期は1,670百万円の売上高）にとどまり、経常利益13百万円（前年同期は54百万円の経常損失）、四半期純損失1百万円（前年同期は75百万円の純損失）となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

① ビジネスフォーム事業

景気低迷による総需要の減少および価格競争の激化の影響により、売上高1,115百万円（前年同期は1,224百万円の売上高）、セグメント利益は76百万円の利益（前年同期は66百万円の利益）となりました。

② 情報処理事業

金融関連の需要減の影響はありましたものの、幅広く新規案件獲得に向け活動を行いました結果、売上高622百万円（前年同期は445百万円の売上高）、セグメント利益は99百万円の利益（前年同期は100百万円の利益）となりました。

(2) 財政状態に関する定性的情報

① 財政状態の変動状況

当第2四半期会計期間における流動資産は前事業年度末と比べ57百万円減少し、2,341百万円となりました。これは主に「現金及び預金」が24百万円増加し、「有価証券」が71百万円減少したことによるものです。固定資産は前事業年度末と比べ28百万円減少し、2,192百万円となりました。これは主に「投資その他の資産」に含まれる「投資有価証券」が61百万円、「保険積立金」が9百万円それぞれ増加し、「長期預金」が50百万円減少したことによるものです。

流動負債は前事業年度末と比べ16百万円減少し、772百万円となりました。これは主に「賞与引当金」が6百万円、「その他」に含まれる「未払金」が31百万円それぞれ増加し、「買掛金」が33百万円、「短期借入金」が30百万円それぞれ減少したことによるものです。固定負債は前事業年度末と比べ19百万円減少し、279百万円となりました。これは主に、「その他」に含まれる「リース債務」が21百万円減少したことによるものです。

純資産の部は前事業年度末と比べ49百万円減少し、3,481百万円となりました。これは主に「利益剰余金」が49百万円減少したことによるものです。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期累計期間における現金及び現金同等物は、営業活動により111百万円の収入、投資活動により32百万円、財務活動により101百万円の支出となった結果、前事業年度末に比べ25百万円減少し1,572百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間は、税引前当期純利益3百万円に非現金支出費用の減価償却費103百万円、投資有価証券評価損11百万円、売上債権の減少額16百万円を加算し、仕入債務の減少額33百万円を減算したことにより、営業活動によるキャッシュ・フローは111百万円の収入（前年同四半期は39百万円の収入）となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間は、有形固定資産の取得による支出24百万円、無形固定資産の取得による支出9百万円が主たる要因で、投資活動によるキャッシュ・フローは32百万円の支出（前年同四半期は43百万円の支出）となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間は、短期借入金の減少額30百万円、リース債務の返済による支出19百万円、配当金の支払額48百万円の支払いにより、財務活動によるキャッシュ・フローは101百万円の支出（前年同四半期は288百万円の収入）となりました。

(3) 業績予想に関する定性的情報

平成24年3月期の業績見通しにつきましては、売上高は3,600百万円、営業利益は11百万円、経常利益は29百万円、当期純利益は10百万円を見込んでおります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項につきましては、平成23年11月10日公表の当社「平成24年3月期第2四半期累計期間業績予想と実績との差異及び通期業績予想の修正に関するお知らせ（非連結）」をご覧ください。

2. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成23年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,688,147	1,712,690
受取手形及び売掛金	524,189	508,116
有価証券	71,601	—
商品及び製品	36,713	38,972
仕掛品	13,819	4,271
原材料及び貯蔵品	34,403	38,596
その他	30,142	39,019
貸倒引当金	△111	△108
流動資産合計	2,398,905	2,341,558
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	499,392	474,646
土地	539,125	533,457
その他(純額)	577,936	551,320
有形固定資産合計	1,616,454	1,559,425
無形固定資産	111,764	118,908
投資その他の資産	492,477	514,103
固定資産合計	2,220,696	2,192,437
資産合計	4,619,601	4,533,995
負債の部		
流動負債		
買掛金	163,118	129,991
短期借入金	436,640	406,640
未払法人税等	11,153	8,252
賞与引当金	42,988	49,905
その他	135,519	177,631
流動負債合計	789,419	772,421
固定負債		
長期借入金	13,360	10,040
退職給付引当金	35,153	38,019
役員退職慰労引当金	24,026	26,348
その他	226,903	205,482
固定負債合計	299,443	279,890
負債合計	1,088,863	1,052,311

(単位：千円)

	前事業年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成23年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,226,650	1,226,650
資本剰余金	1,172,655	1,172,655
利益剰余金	1,216,571	1,166,778
自己株式	△80,126	△80,211
株主資本合計	3,535,750	3,485,872
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△5,012	△4,188
評価・換算差額等合計	△5,012	△4,188
純資産合計	3,530,738	3,481,683
負債純資産合計	4,619,601	4,533,995

(2) 四半期損益計算書
第2四半期累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
売上高	1,670,881	1,737,869
売上原価	1,280,218	1,305,350
売上総利益	390,663	432,518
販売費及び一般管理費	427,429	441,492
営業損失(△)	△36,766	△8,973
営業外収益		
受取利息	1,826	778
受取配当金	1,004	1,350
助成金収入	16,319	30,282
その他	8,352	7,121
営業外収益合計	27,503	39,533
営業外費用		
支払利息	7,090	7,294
投資有価証券評価損	33,695	6,462
その他	4,369	3,451
営業外費用合計	45,155	17,208
経常利益又は経常損失(△)	△54,418	13,351
特別利益		
固定資産売却益	5,622	435
特別利益合計	5,622	435
特別損失		
固定資産除却損	—	1
固定資産売却損	—	6
投資有価証券評価損	7,343	4,794
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	4,159	—
損害賠償金	5,944	5,896
その他	405	—
特別損失合計	17,851	10,699
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	△66,648	3,087
法人税、住民税及び事業税	4,305	4,494
法人税等調整額	5,009	—
法人税等合計	9,315	4,494
四半期純損失(△)	△75,963	△1,406

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失 (△)	△66,648	3,087
減価償却費	106,917	103,862
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	1	△3
賞与引当金の増減額 (△は減少)	6,584	6,917
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△3,984	2,865
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	2,665	2,322
受取利息及び受取配当金	△2,831	△2,128
支払利息	7,090	7,294
有形固定資産売却損益 (△は益)	△5,622	△429
有形固定資産除却損	—	1
投資有価証券償還損益 (△は益)	23	—
投資有価証券評価損益 (△は益)	41,038	11,257
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	4,159	—
保険解約損益 (△は益)	74	—
売上債権の増減額 (△は増加)	△2,170	16,072
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△6,103	3,096
仕入債務の増減額 (△は減少)	△8,698	△33,127
その他	△23,195	2,496
小計	49,300	123,585
利息及び配当金の受取額	4,115	2,128
利息の支払額	△7,059	△7,384
法人税等の支払額	△8,611	△8,820
法人税等の還付額	1,344	1,513
営業活動によるキャッシュ・フロー	39,089	111,022
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△5,395	△24,458
有形固定資産の売却による収入	8,142	11,673
無形固定資産の取得による支出	△39,009	△9,975
投資有価証券の取得による支出	△495	△614
投資有価証券の償還による収入	1,963	—
保険積立金の積立による支出	△10,778	△9,678
保険積立金の払戻による収入	1,760	—
その他	△180	451
投資活動によるキャッシュ・フロー	△43,992	△32,600

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	360,000	△30,000
長期借入金の返済による支出	△8,000	△3,320
自己株式の取得による支出	△177	△84
リース債務の返済による支出	△14,986	△19,499
配当金の支払額	△48,414	△48,269
財務活動によるキャッシュ・フロー	288,420	△101,173
現金及び現金同等物に係る換算差額	△3,837	△2,705
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	279,679	△25,457
現金及び現金同等物の期首残高	1,496,039	1,598,147
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,775,719	1,572,690

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

I 前第2四半期累計期間(自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期損益計算 書計上額 (注) 2
	ビジネスフォー ム事業	情報処理事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,224,957	445,924	1,670,881	—	1,670,881
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	1,224,957	445,924	1,670,881	—	1,670,881
セグメント利益又は損失(△)	66,904	100,792	167,696	△204,463	△36,766

(注) 1. 「調整額」の区分は全社費用を記載しております。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又はセグメント損失は、財務諸表の営業損失と調整を行っています。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期損益計算 書計上額 (注) 2
	ビジネスフォー ム事業	情報処理事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,115,524	622,345	1,737,869	—	1,737,869
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	1,115,524	622,345	1,737,869	—	1,737,869
セグメント利益又は損失(△)	76,705	99,949	176,654	△185,627	△8,973

(注) 1. 「調整額」の区分は全社費用を記載しております。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又はセグメント損失は、財務諸表の営業損失と調整を行っています。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

従来、ビジネスフォーム事業での帳票印刷後、情報処理事業でデータ印字をする場合、売上高及び売上原価を全て情報処理事業で計上していましたが、第1四半期累計期間より、各事業のセグメント利益をその製品及びサービス内容に応じてより明確に管理するため、それぞれのセグメントの売上及び売上原価として把握し、管理する方法へと変更しております。また、従来、営業費用は全て各事業に配分していましたが、本社管理部門費用については、全社で負担することで、各事業セグメント利益をより適切に管理する方法へと変更しております。

なお、前第2四半期累計期間のセグメント情報についても、当第2四半期累計期間のセグメント情報と同様の測定方法により作成し直しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(7) 重要な後発事象

該当事項はありません。